

# 北辰

TOKYO



岐阜県立多治見北高等学校同窓会  
東京支部会報 第27号  
2013年10月6日

## 11/16の総会・懇親会にぜひご参加ください

多治見北高等学校同窓会東京支部 会長 原田 英明 (12 回生)

日に日に涼しさが増し、いよいよ秋たけなわとなつてまいりました。多治見北高等学校同窓会東京支部会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今年の東京支部総会・懇親会まであと一ヶ月余りとなりました。昨年は11月17日、ホテル銀座ラフィナートで開催し、一昨年と同数の126人(来賓含む)という多数の方々にご参加を頂き、大盛況でした。フォーラムではマーサ☆リノイエ(三輪裕美子・13回生)さんによる、「ポップ三味線」の多彩な演奏と軽妙なトークに大いに盛り上がりました。

今年は駒込の女子栄養大学に場所を変えて開催します。4のつく回生の皆さんが幹事回生で、主に24回生が中心になって準備を進めていただいています。今年のフォーラムは神奈月:奥村聡司(24回生)さんでテーマは「エンターテイメントについて語る」。神奈月さんはものまねタレントとしてテレビやライブで活躍中です。番組で多治見北高を訪問したこともあり、真面目なセミナーとして話せるネタも豊富にあるとのこと。多治見から「うながっば」の特別参加も予定されており、当日どんな展開になるのか今からとても楽しみです。

年々若い世代の参加者も増えてきていますので、まだ参加したことのない方も是非本年の総会・懇親会にご参加ください。既に参加されている方々はもちろん、ご友人たちをお誘い合わせの上ご参加ください。

また、当会ではゴルフコンペも開催しています。今年は6月29日に大宮カントリークラブで開催しました。今回は12人の参加でしたが、さらに多くの方々に参加していただき、大いに盛り上がりつつあることを期待しています。

インターネット上では当会のホームページを開設していますが、その他に会員相互の交流の場となるようフェイスブック上に「多治見北高同窓会東京支部」のグループを設置しています。現在80人ほどのメンバーがいますが、フェイスブックアカウントをお持ちの方あるいはこれから持とうとお考えの方、是非ご参加ください。



今年2月3日に、恩師の大角敏男先生がお亡くなりになりました。ご冥福を祈り致します。大角先生はわが多治見北高同窓会東京支部(東京同窓会)の文字通りの意味での生みの親です。大角先生と鈴木満初代会長をはじめとする先輩方のご尽力により東京での同窓会が発足し、こうして24年目を迎えています。(詳しくはp5上段、鈴木氏の追悼文を参照ください)当時の一回生でもまだ40代の現役で忙しい世代だったことを思うと、東京同窓会発足に注がれた熱意には頭が下がります。

当会(東京支部)の会員の多くは首都圏に進学し、そのまま就職した人たちだと思われます。昨今は携帯電話やインターネットの普及で地元と東京の距離感は縮まりましたが、東京の大学に進学したばかりの頃の私にはとても遠く感じられ、孤立感を感じていました。そんな時に同窓会を通じた繋がり、絆は心のよりどころの一つになりうるのではないかと思います。首都圏在住の皆さん、ぜひ東京の同窓会にコンタクトしてみてください。



## 定着してきた活動のさらなる発展を期す

多治見北高等学校同窓会 会長 酒井 忠造 (5回生)

東京支部の皆様のご健勝を心からお喜び申し上げます。

今夏、国内の最高気温が更新されました。6年ぶり、高知県四万十市で41.0度を観測しました。限りなく危険なこの温度、2070年までには平均気温が2.7度上昇すると言われています。

大雨が突然局地的に降り、大きな被害をもたらしました。炎暑は記録的で、熱中症になる人が続出しています。家の中にも、老人たちは熱中症になり、救急車で運ばれていきます。この最近の異常気象には、恐怖をさえ感じます。昔はこんなことなかったのに。人類のために地球の温暖化が生じ、未曾有の被害が出ているとしたら、私達は、生活の様式を変え、考えを変え、価値観を変えて生

きていかないとこの現代の難問を解決する道はないかもしれません。自然を元に戻し、樹木の大切さを考えなければならないのではないのでしょうか。

そう思っていたところに、2007年8月、40.9度を観測した「日本一暑いまち」の多治見市の気温の研究で、多治見北高の自然科学部が「2013日本ストックホルム市少年水大賞」で大賞に次ぐ審査部会特別賞を受賞しました。水大賞は、日本河川協会や自然科学分野の大学教授らで作る実行委員会の主催で、3月の東京都で選考会がおこなわれ、選ばれました。

北高の自然科学部は10年前から地元の気温を地域別、時間帯別に観測。昼は土岐川周辺、夜は市周縁の緑地が気温を下げているとの仮説を裏付けました。8月2日から長崎県で開かれる全国高校総合文化祭に、自然科学部門の県代表として出場、研究に基づき、市街地の水路整備、緑地保全など気温上昇を抑えるアイデアを発表しました。「多治見の暑さと格闘していたら、あつという間だった」と振り返る部員達の長期にわたる地道な努力に喝采を送りたいと思います。

また、5月には、わが同窓生の堀江敏幸君(第23回生)(早稲田大学文学学術院教授)が第66回中日文化賞を受賞されました。「優れた創作・翻訳による現代文学への貢献」を認められ、受賞されました。本当に私たちも「誇り」に思います。彼は東日本震災後、詩人や作家が「ことば」持ち寄る活動にも参加。今後の活躍を期待したいと思います。

「東日本大震災」の復興については三度目の夏を迎えているのに、避難生活者はいまだに約30万人にのぼり、原発事故の除染も容易には進まず、復興住宅の建設もろい。私たちも少しでも「義援金を」と、毎年日本赤十字社を通じて送っています。とにかく政治がもつ

と気合を入れて被災者の立場に立ってやらなければいけないと思います。

多治見北高同窓会は今年度、第53回生を同窓会に迎えました。17,500人を超える卒業生となりました。

それでは、同窓会今年度の事業についてご紹介申し上げます。

1. 会報「北辰」は10月中に発行予定です。今回で第14号となります。  
2. 毎年恒例として行われております、在校生への卒業生による講演会の実施は10月10日に歯科医師の伊藤恒一君(12回生)にお願いすることが出来ました。

3. 第14回北辰会ゴルフコンペの実施

今年度は14回生を中心に幹事にお願いして、9月15日(日)に富士カントリー可見にて約100名の参加で実施いたします。

4. 「虎渓山永保持の落ち葉の清掃と懇談会」の開催。

これは今回で4回目となります。昨年は約140名の参加を得ることが出来ました。同窓会の家族、友人誰でも参加できますので、秋の銀杏の陽に映える姿は美しいです。今年は11月24日(日)に開催することになりました。この日に合わせて、地元へお帰りになり、ミニ同窓会として、参加されたいかがでしょうか。

5. 「東日本大震災」義援金寄付の実施

会員皆さんから寄せられる「協力金の5%」を義援金として日本赤十字社に寄付します。

今年度は「10万円」を送付致しました。今後8年間続けます。

多治見北高同窓会の財政は脆弱で、皆さんの協力金で成り立っておりますが、期待通り集まりません。在校生への部活動への援助も継続的にできたらと思いますが、ままなりません。ぜひ皆様のご理解、御支援をよろしくお願い致します。

最後に東京支部の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

## 関西支部からごあいさつ

多治見北高等学校同窓会関西支部 会長 水野 尚之 (13回生)

今年度の関西支部総会・懇親会(第22回)は、6月9日(日)午前11時から、京都の「聖護院御殿荘」で開かれました。(関西支部は、大阪、神戸、京都、奈良など名だたる観光地がエリアにありますので、毎年集まる場所を変えて、場所そのものの雰囲気を楽しみ、懇親会後には付近の散策もしています。)今年度は出席者も32名となり、風情ある立地で賑やかな会になりました。これもひとえに、先輩方、事務局の土本美智子さん(13回生)、会計担当の平木えり子さん(18回生)をはじめとする会員の皆様が、積極的に声掛けをし、準備をしてくださったおかげと感謝しております。関西支部の会員は現在220名で、東京支部に比べてかなり小じんまりしていますが、昼食をはさんで行なわれる支部総会と懇親会は、関西ならではのノリで、いつも大変賑やかです。

総会には、遠路にもかかわらず同窓会本部から酒井忠造会長、伊藤恒一副会長、そして東京支部からは原田英明会長のご出席を賜りました。また、鈴木康博多治見北高校長、後藤浩利同校教諭、そして松田嘉久同校元教諭ご夫妻という恩師のご臨席を賜り、様々な世代の同窓会員がそれぞれの北高の思い出を共有することができました。ご来賓のどの方々も、ユーモアにあふれたご挨拶によって、関西支部の会員を温かく激励してくださいました。特に鈴木康博校長からは、現在の多治見北高のご指導の様子や生徒たちの活躍などを詳しくご説明いただき、同窓会として大変参考になりました。

今年度の総会においても、記念講演が行なわれました。今回は大阪市住吉区役所に勤務されている粕谷武志さん(13回生)が、「お騒がせ、大阪市役所の内と外」と題してお話くださいました。名物(?)市長の言動によって何かとマスコミを騒がせる大阪市役所の実態について、現役の職員が内側から話をし、というかなり勇気のいる、同窓会ならではの講演でした。マスコミの報道が時として偏ったものになる点などを、具体例を挙げながら指摘され、刺激的な講演でした。



聖護院御殿荘にて



平安神宮にて

前年度の会計報告も承認され、総会が無事終了した後、懇親会に移りました。(13 回生の土本正明さんが司会・進行をしてくださり、総会、懇親会ともスムーズに進みました。) 原田東京支部会長、松

田元教諭、後藤教諭、伊藤副会長がそれぞれ楽しいご挨拶をくださり、赤穂英一さん(2 回生)の乾杯のご発声の後は、関西支部のいつもの和やかな会食、酒宴となりました。ざっくばらんな会話の中にも、お互いの健康を祝いあい、即興でマイクを握られる人に自由にツッコミを入れる、いかにも関西風の会が2 時間ほど続きました。最後に、大村厚子さん(1 回生)が関西支部の懐かしい思い出を交えたお話で、会を閉めてくださいました。こうして懇親会が盛会のうちに終わった後、齊藤誠先生ご寄贈の同窓会旗とともに、記念撮影を行ないました。

その後、いつものようにほろ酔い加減で、会場近くの平安神宮を散策しました。数十年ぶりに外苑を訪れられた方もおられ、変わらぬ京都の良さを味わっておられるご様子でした。

## 「自主・自律・自学」を拠り所に次世代リーダーの育成をめざす

岐阜県立多治見北高等学校 校長 鈴木 康博

多治見北高等学校同窓会東京支部同窓生の皆様には、ますますご健勝のことと心からお慶び申し上げます。日頃は母校の教育活動に対し格別ご理解とご支援を賜り、心から感謝いたします。

本校は、今年で創立 56 年目となります。東濃の広い地域から、大きな夢を抱いた生徒たちが入学してきます。春には見事に咲き誇る校庭の桜、校舎に沿って整備された生徒の憩いの場となっている緑豊かな「北辰の杜」、東側に並び建つ気高き神言修道院、本校を守るかのような虎溪山永保寺、高台から見渡す美しい街並みなど、豊かな自然環境に恵まれています。金田一京助作詞、高木東六作曲の素晴らしい校歌も歌い継がれています。また、社会の中核で活躍していらっしゃる錚々たる同窓生の皆様方の存在も、本校の誇りでもあります。

生徒たちは、校訓「自主、自律、自学」の精神の下で、学習はもちろんのこと、部活動、生徒会活動などにも自主的に取り組んでいます。80%に近い生徒が部に加入し3年間継続して活動します。短い時間ではありますが、毎日効率的に練習を行い地区大会で多くの部が上位入賞を果たし、県大会へ進出しています。今年度、軟式野球部は第 61 回岐阜県総合体育大会兼東海高校総合体育大会岐阜県予選で準優勝し東海大会へ出場しました。自然科学部は「多治見の暑さ」を長年にわたって研究した成果を、日本ストックホルム水大賞審査部会で発表し、特別賞を獲得、長崎県で開かれた全国総合文化祭にも県代表として出場しました。また、自然科学部と放送部が県教育長から文化部活動推進校に指定されています。このように生徒一人ひとりが文武両道の精神をもって活動しています。(本校 HP に詳細を掲載しましたので是非ご覧になってください。)

9 月 4～6 日には、創立 2 年目から続く伝統的な生徒会行事、第 55 回北辰祭が行われました。前半 2 日間が文化祭、最終日が体育祭でした。本年度のテーマは「青春」。夏休みには準備のため多くの生徒が登校しました。3 年生は演劇、1・2 年生は、創意工夫を凝らした展示・演劇を行い、「青春」を謳歌しました。また、PTA の皆さんには食品バザーを企画していただき、100 名を超える保護者の皆様の参加を得て盛り上げていただきました。

また、「ボーダレス多北」と称して生徒たちが地域に飛び出し、通学路、国道 19 線沿道の清掃、子ども情報センターでの地元の幼児に向けた本の読み聞かせを行っています。家庭クラブの活動として、特別養護老人ホーム「ピアンカ」での介護体験、学校近隣の一人暮

らしのお年寄りの自宅へ伺い、ふれあいの機会をもっています。このようにボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。

平成 11 年度から 14 年間続いた北海道への修学旅行を、本年度から沖縄に変更しました。自然環境、平和問題、日本の文化・歴史について広い視点から考えるきっかけを与えることを目的としたものです。昨年 12 月から事前学習に取り組み、問題意識をもって修学旅行に臨みました。平和祈念資料館、糸数壕、ひめゆりの塔、ひめゆり学徒隊生存者与那覇百子さんによる戦争体験講話などの平

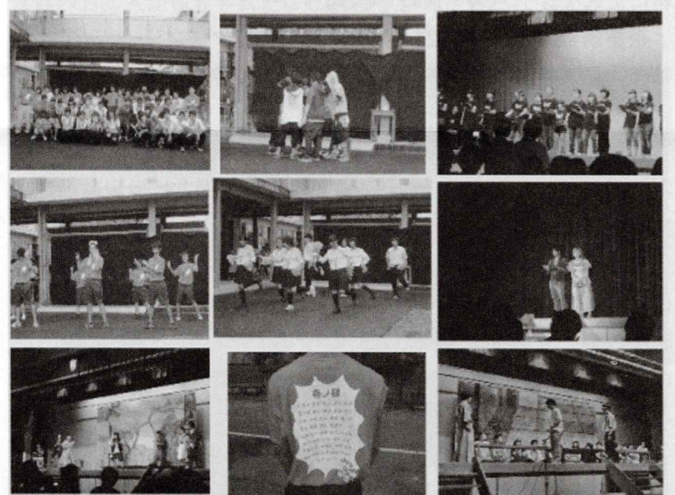


岐阜県立多治見北高等学校 第 21 号

平成 25 年 9 月 18 日



### H25 北辰祭【文化祭】



平成 25 年度北辰祭  
テーマは「青春」  
今年度は校舎の工事で、中々準備がはかどりませんでした。短い期間で、シンプルですが、完成度の高い内容でした。

1 年生は展示やダンス  
2 年生は武道場で劇  
3 年生は体育館で劇



和学習をととして生徒たちは多くの気づきを得たことと思います。

また、科学的な視野を広げさせる目的で、5年前から「多治見北高校サイエンスプロジェクト(TSP)」を立ち上げました。名古屋大学などから先生方を招聘して出前講義を実施したり、瑞浪市にある岐阜県先端科学技術体験センターでの「DNA 鑑定実験」や土岐市にある核融合科学研究所で実験・実習をしたりしています。科学者や技術者と対話をするることによって先端科学に触れさせ、さらなる科学的探究心の高揚を図っています。10月10日には、「同窓生による講演会」として、本校12回生で地元で歯科医を開業しておられる伊藤恒一先生に、専門的な職業に基づく生き方・在り方に関わる講話をいただくことになっています。同窓生の方々にも、このような形で毎年キャリア教育の支援していただき、ありがたく思っています。

さて、本校は3年前から組織的な学校経営体制の充実を図るとともに、教科指導においては、個に応じた学力の充実をめざして、数学や理科に習熟度別指導を導入しました。また、進路実現を支援する仕組みとして、早朝の北辰講座、3年生を対象とした放課後補習、土曜講座など多様な学習の機会を提供してきました。こういった体制の中で、この春の卒業生は「チーム多北」として学年が一体となって頑張り、高い進路目標を達成して新たな道を歩み始めました。本年度は、これまでの3年間を振り返り、その成果と課題を検証し、今後の5年間にどのようにつないでいくかを総括すべき節目の年であると考えています。そこで、これからの変化の激しい時代を見据え、将来、地域や日本を担うリーダーの資質を有する生徒たちに、高校

生活をととして身に付けてほしい三つの力を、教育ビジョンとして明示することにしました。校訓「自主・自律・自学」と「社会人基礎力」(経済産業省提唱)に依拠し、「多治見北高校のめざす生徒像」を具体的にまとめたものです。これらを教職員が共通理解し、生徒たちにも深く浸透させたいと考えています。

一つ目は、「一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力」です。すなわち、将来を見据え、やらなければならないことを自らの責任で決定し、行動できる旺盛な実行力を身に付けてほしいということです。二つ目は、「チームで働く力」、すなわち、仲間とともにコミュニケーションをとりながら、目標達成に向けて協力する力です。いわゆる「チーム力」です。三つ目は、「自ら課題を発見し、筋道立てて問題を考え抜く力」です。すなわち、課題探究力、論理的思考力です。これらの力は、毎日の授業、HR 活動、部活動などの教育活動により育まれるものです。これらの「多治見北高校のめざす生徒像」の具現をめざして、指導と支援にあたりたいと考えます。

今後とも生徒の遠い将来を見据えたビジョンをもち、確かな進路実現ができる学校として、一歩一歩着実に前進したいと考えます。脈々と受け継がれてきた本校の伝統を守りながら、同窓生、保護者、地域の皆様から寄せられる期待にも応えつつ、校訓「自主・自律・自学」を拠り所として、人間性においても、学力面においても、生徒一人ひとりを伸ばし、次世代を担うリーダーとなる人材を育みたいと考えます。教職員一同一丸となって努力する所存ですので、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 新市建設計画仕上げの残り三年へ

多治見市長 古川 雅典 (11 回生)

多治見市と笠原町が合併をして7年が経過しました。合併の際に10年で新しい多治見市を作り上げる新市建設計画を策定しました。残り3年で様々な事業を完成させる仕上げに時期に入ってきています。これからも言いきる、言ったらやりきる、有言実行で市民と一緒に元気なまちづくりを進めていきます。

企業誘致では、平成24年10月29日にアマゾンジャパン株式会社多治見フルフィルメントセンター、平成25年7月22日にトヨタ自動車株式会社多治見サービスセンターが竣工しました。

アマゾンジャパン株式会社多治見フルフィルメントセンターは、日本最大級の物流の拠点となり、地元の雇用確保と地場産業との連携も期待されます。

トヨタ自動車多治見サービスセンターの竣工式では、トヨタ自動車の豊田章男社長が来られて「世界の人材育成の拠点にする」と熱く語られました。今回整備された研修棟では年間約4,800人の国内外のサービススタッフが研修を受けられるとともに研修生がまちに出ることによる2次的な効果も期待されます。

7月3日に(仮称)多治見市役所駅北庁舎の起工式を行いました。平成26年10月には、竣工式を迎え、年末に窓口部門、保健センター、教育委員会等が引越しをします。平成27年1月からオープンの予定です。これまでの市役所ではスペースが限られていることもあり、窓口で隣の方が話している声が聞こえてしまうことがありました。こういったことが解消され、多治見駅に近いこと、利便性も向上します。

また、新火葬場の建設予定地については、南姫地区の皆様にご苦渋の決断をしていただき、建設地が決定いたしました。老朽化していた美坂、滝呂の両保育園を統合した保育園の建設についても土地

を取得し、準備に入っています。また、合併時に笠原町から強い要望のあった(仮称)日本タイル館についても現在の笠原庁舎を取り壊した後、笠原中央公民館の広場も含め、一体的に整備していく予定です。

このように残り3年で全てを仕上げたいと考えています。

多治見市では、教育環境・医療環境岐阜県No.1を目指し取り組みを進めております。教育面では、体トレとして、現在、全国平均より低い子どもの体力、体格を5年間かけて全国平均まで高めていきます。医療環境では、本年5月21日、多治見市民病院と土岐川堤防を結ぶブリッジが完成し、市民病院がグランドオープンを迎えました。川を見ると病気が速く治ることをこれから3年間かけて実証していきます。

本年6月6日より、平成25年度の全国市長会副会長を拝命いたしました。従来のような国・県への「おねだり」「お願い」ではなく、国と地方の役割分担の中で具体的かつ実現可能な政策提言・進言を、全国市長会副会長として積極的に行ってまいります。

8月12日高知県四万十川市で最高気温41.0度を記録し、多治見市がこれまで持っていた40.9度の日本最高気温が更新されました。多治見市では、今後も高気温となる原因の究明と対策をしっかり行ってまいります。また環境面に留意し、暑さに関連した産業振興を推進してまいります。

世界の中心でご活躍の皆様には、今後とも、なお一層故郷多治見に元気を送ってくださいますよう、ご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。



## 故大角敏男先生を偲ぶ

多治見北高東京同窓会初代会長 鈴木 満 (1回生)

私が公正取引委員会の審査部第一審査長在任中(昭和63年11月～平成2年6月)のある日、中曽根元首相の秘書が中年の男性を帯同して私に面会を求めてきた。大政治家の秘書が一役人の私のところに直接赴き、面会を求めるといのは異例のことなので、「何事か」と身構えた。しかし、その秘書は「ここまでが私の仕事」と言わんばかりに退席し、残された中年の男性が「多治見北高校で教師をやっていた大角です。今日は鈴木さんに多治見北高校東京同窓会を立ち上げてもらいたいとお願いにきた」と訪問の趣旨を説明した。私は、この依頼内容と大政治家の秘書の紹介との「落差」に戸惑いながら、「私も同様のことを考えていました。喜んでお引き受けいたします」とお答えした。思えばこのときが大角先生とのお付き合いの始まりであった。

学校に問い合わせたところ、大角先生は、昭和34年から昭和43年までと、昭和47年から昭和59年までの2回、都合23年間、多治見北高校に在籍されていたとのこと。高校の教師をされていた期間の過半を多治見北高校で過ごされたことになる。それゆえ、

大角先生は多治見北高校のことを我が子のように案じておられ、それが冒頭のような行動に繋がったと推測される。このような経緯から「大角先生は多治見北高校同窓会東京支部(東京同窓会)の“生みの親”である」と言っても過言ではないだろう。

私は、大角先生に背中を押される形で、多治見北高校東京同窓会の立ち上げに尽力した。1回生はもちろん7回生を始め多くの同窓生の協力を得て、さらに、当時本部同窓会の会長であった1回生の小芝君や当時校長であった杉山先生の協力も得て、ようやく平成2年11月に設立総会を迎えることができた。さらに、大角先生の“思い”は、2回生の前原氏にも伝わり、その後多治見北高校関西支部が設立されている。

あれから24年が経つ。大角先生には、東京同窓会の総会・懇親会に毎回のように出席してもらっていたが、近年は、「体調が悪い」と言って欠席されることが多くなった。一人娘である柳澤敦子さん(19回生)に聞くと入院されているとのこと。そして、今年2月3日、遂に帰らぬ人となられた。私は、原田現会長から弔辞を頼まれたが、生憎、当日は法科大学院の授業があって出席できなかった。できれば、大角先生に「先生の肝いりで発足した東京同窓会は年々盛会になっています。本当に有り難うございました」とお礼を申しあげたかった。

ご冥福をお祈りしたい。

## 8回生東京同窓会を開催

—毎年恒例の開催続く—

少し時間が経ちましたが、8回生が開催しました東京同窓会について報告いたします。

昨年の11月17日に開催された第23回東京同窓会懇親会の会場において、当日の参加者が集まり例年開催している関東地域在住の8回生同窓会の開催日を、次の25年2月9日(土)の12時から開催することを決めた。8回生の東京同窓会は、同級生の故可児重昭君、若尾泰英君、後藤司郎君などの尽力により以前から開催しており、今回は渡辺紳一君にお世話をいただき東京浜松町の世界貿易センター39階にある東京会館「ダイニングバーBar39」で開催した。8回生メンバーは全員で40名が登録され、当初は20名近い参加の予定であったが各種の都合により当日の参加者は16名となった。

母校の北高を卒業し45年が過ぎ、年齢も還

暦を迎えて数年を経過しており出席者各位の環境も徐々に変化していることから、全員で近況について自己紹介を行い、食事をしながら懇談を行い楽しい時間を過ごした。

終了の時間を迎え、記念写真を撮影後また次回の懇談会開催を約して解散したが、時間の都合がつく参加者全員で会場の近くにある浜離宮庭園まで徒歩で向かい、庭園内を散策し早咲き紅梅、白梅などを鑑賞した。

また来年も開催を予定しており、多くの方の出席を期待しております。

8回生の東京同窓会メンバーの中で、昨年から今年にかけて元NECに勤務されていた可児重昭君と日本医科大学准教授横井公良君のお二人が他界された。ご冥福をお祈りいたします。

(小原 久)



浜離宮庭園にて



世界貿易センター東京会館での記念写真

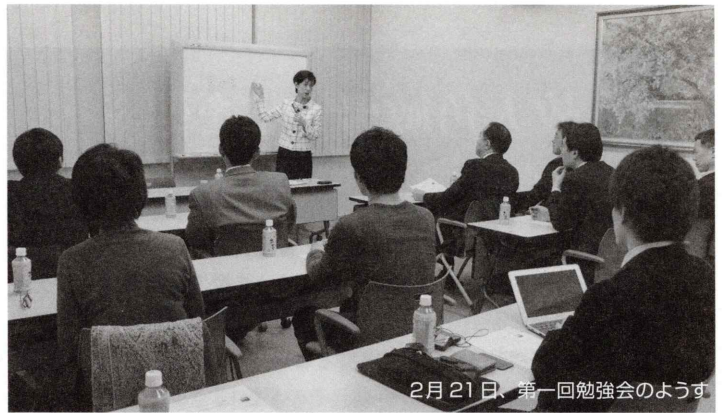
## 東京岐阜県人会青年部のご紹介

東京岐阜県人会青年部 副委員長  
木下 和博 (31 回生)

皆さんは「東京岐阜県人会青年部」という名称をお聞きになったことはありますか?そもそも「東京岐阜県人会」という組織を知らない、という方もいらっしゃるかも知れません(実は私も数年前までその一人でした)。

東京岐阜県人会は、関東圏に在住又は勤務されている岐阜県出身者(岐阜県人)とその家族で構成された同郷組織で、年2回の総会や会報誌の発行等を通じて、関東圏で活躍されている岐阜県人の交流や情報交換等を行い、懇親を深めています(現在の会員数約800名、昨年で創立110周年)。青年部はその下部組織で、主に東京岐阜県人会の若手会員の交流・新規会員の勧誘等を目的に、隔月で交流会を兼ねた勉強会を開催したり、不定期でイベントを企画したりと、一年を通して様々な活動を展開しています。

特に今年度からは、心機一転、より若手に魅力ある組織作りを目標に、新たな試みを実践しています。具体的には、これまで会員同士の交流の場としての色彩が濃かった勉強会を、今後は異業種交流の場として積極的に活用することを目指し、毎回講師をお招きして実施する講義の内容についても、より実践的で、ビジネスや日常生活にすぐ活かせる情報を提供できるようテーマを厳選しています。例えば、今年2月の第一回勉強会では、多治見北高校出身者で接遇・マナーコンサルタントの平良未散さんを講師にお招きして、ビジネスマンのための「ビジネスマナー講座」を実施しました。私も社会人になってそれなりに経験を積み、そこそこビジネスマナーも身に付けているつもりでしたが、平良さんには、人と接する上での基本的な姿



2月21日、第一回勉強会のようす

勢から丁寧に解きほぐしてご説明いただき、大変感銘を受けるとともに、新鮮な刺激を受けました。その後も毎回実践的な内容を中心に、充実した講義を実施しています。もちろん講義の後は、近くのお店で懇親会を開催して交流も深めていますので、そちらをメインに楽しみたいという方にもお勧めです。

普段接したことのない様々なステージで日々活躍しておられる岐阜県人の皆様とお話して、普段では得られない刺激を受けるまたとない機会です。次回第4回は10月16日の予定です。東京岐阜県人会に入会されていない方でも参加できますので、ご興味のある方は奮ってご参加下さい。

東京岐阜県人会青年部では以下のフェイスブックページも開設して、これまでの活動報告や今後の活動の予告等を行っていますので、是非一度覗いて「いいね!」を押してみてください。また岐阜県人会サイトでもご案内しています。

東京岐阜県人会青年部フェイスブックページ:

<https://ja-jp.facebook.com/GifuKenYouth>

東京岐阜県人会ホームページ:

<http://www.apgifu.net/>

## 第23回多北東京総会・懇親会 幅広い同窓の交流を実現

昨年の第23回多治見北高校同窓会東京支部総会・懇親会は、11月17日、ホテル銀座ラフィナートで開催しました。一昨年と同数の126人(来賓含む)という多数の方々に参加を頂き、大盛況でした。

来賓は、本部から酒井忠造会長、今井正史副会長、伊藤恒一副会長、母校から鈴木康博校長、後藤浩利先生、鈴木克己先生、関西支部から平木えり子さん、多治見市から古川雅典市長、小玉秘書、



牧戸秘書、恩師の杉山仁先生、松田嘉久先生、東濃会から高井幸弘、恵那高東京同窓会代表、中島千尋・瑞浪高校首都圏同窓会代表らをお迎えました。

総会では、第22期事業報告及び決算報告、第23期事業計画及び予算案について審議・了承されました。さらに、会則の一部改正が提案され可決されました。内容は第4条の庶務会計の人数を1名から若干名に変更するもので、あわせて庶務担当を鈴木清二さん(13回生)、会計担当を足立稔幸さん(12回生)にお引き受け頂くことを確認致しました。

恒例のフォーラムはマーサ☆リノイエ(三輪裕美子・13回生)さんによる、「三味線音楽の多様性と可能性について」。長唄、端唄、

民謡、歌謡曲、ロックにじょんがら……三味線で弾けるものなら何でも弾く「ポップ三味線」の多彩な演奏と、長年芸能の世界で生きてきた三輪さんならではの軽妙なトークで多いに盛り上がりました。

懇親会では、原田会長の開会の辞に続き来賓の鈴木校長、酒井同窓会本部会長、古川多治見市長からご挨拶を頂きました。杉山先生の音頭による乾杯の後、歓談となりました。1回生から新卒生まで

幅広い年齢層の参加者で、殊に45回生以下の若い人たちには10数人参加していただきました。そここで世代を超えた交流が見られ大いに盛り上がりました。

また、協賛としてカゴメさんとポッカさんから飲み物、伊藤恒一先生からデンタルセットを提供して頂き、参加者のお土産とさせて頂きました。

## 多北東京ゴルフコンペ開催

6.19 大宮カントリーにて

6月29日(土)、大宮カントリークラブ・くれないコースにおいて、「多治見北高同窓会東京支部ゴルフコンペ」を3組12名の参加で開催しました。この日は、天候にも恵まれ、最高のコンディションでプレーが白熱しました。

優勝者は最長老の田中礼吉さん(2回生)でした。(株)カゴメさんからの協賛や、当日持込みの商品などもあり、皆、賞品を載いて帰路につきました。ありがとうございました。

今後も引き続き開催していきたいと思ひます。まずはお声かけをするための名簿を充実させたいと思ひますので初心者、ベテランを問わず一人でも多くの皆さんのエントリーをお待ちしております。

担当幹事：渡辺啓一(12)、鈴木清二(13)までご連絡ください。

メールにてどうぞ：info\_hokushin@tajimikita-tyo.com



参加された皆さん。左から、丹羽健祐(6)、鈴木清二(13)、渡辺啓一(12)、田中礼吉(2)、安藤敏弘(17)、水野輝彦(13)、愛知正人(13)、鈴木敦(11)、正村栄邦(17)、愛知文人(11)、石橋正文(7)、石原元(13)の各氏

## 11/16 東京支部総会・懇親会 今年の「フォーラム」は “神奈月”登場!!

演題：「エンターテインメントについて語る」

講師：神奈月

太田プロダクション所属

ものまねタレント(24回生 奥村聡司)

ものまねタレント「神奈月」こと、24回生の奥村聡司さんは、日本テレビ「ものまねグランプリ」に連続出演し、レギュラー番組も持つ全国区で人気の芸人さんです。

神奈月さんは、土岐市駄知町の出身で、地元をこよなく愛し、地元(地方)の活性化にエンターテインメントが必要だと言ひます。

今回のセミナーでは、駄知小学校から同級生のフリーアナウンサー酒見由梨さんと、北高の最新映像を交えてエンターテインメントについて語りまひす。主催者側も何が飛び出すか想像できません。テレビやライブショーでは見ることのできない(たぶん東濃出身者にしか理解できない・・・)超レアな爆笑トークショーになると思ひますので、お見逃しなく!

ものまねタレント

# 神奈月

Ameba

- 神奈月のプロフィール
- 神奈月のブログ
- 神奈月へメールを送る
- 神奈月のリンク
- テレビ出演情報!
- イベント出演情報!
- 単独ライブ情報
- トップページ

東海テレビ「スイッチ」月曜～金曜9時50分～11時15分 木曜レギュラー  
テレビ埼玉「神奈月&相川友希の大逆転実況ばちドッキリ」毎週火曜23時30分～24時



本名	奥村 聡司
生年月日	1965年11月3日
出身地	岐阜県 <b>土岐市駄知町</b>
血液型	B型
サイズ	身長172cm 体重68kg
特技	ビリヤード・ゴルフ
趣味	スポーツ観戦

### ものまねレパートリー

阿久悠/アニマル浜口/アンドレ・ザ・ジャイアント/石原良純/イチロー/井上陽水/内川聖一/内田裕也/内館牧子/大友康平/岡島秀樹/乙葉/吉川晃司/木戸愛/木戸修/クリス松村/小橋健太/駒野友一/澤穂希/SIAM SHADE/新庄剛志/スーザン・ボイル/スタン・ハンセン/タイガー・ジェット・シン/タイガーマスク/高城剛/高橋克典/高見盛/竹内力/竹原慎二/谷亮子/長州力/デーモン小暮/天龍源一郎/トム・クルーズ/長嶋茂雄/野原しんのすけ/葉加瀬太郎/萩原流行/野村萬斎/馳浩/原辰徳/ハルク・ホーガン/日馬富士/福山雅治/船越英一郎/ブルーザー・プロディ/フレディ・マキユリー/前田明/前田敦子(元AKB48)/横原敬之/松岡修造/松坂大輔/美木良介/ミゲル/ミラジョボビッチ/美輪明宏/武藤敬司/やくみつる/渡辺謙

# 第23回東京支部総会・懇親会のご案内

あの暑かった夏がまるで嘘だったかのような過ごしやすい季節になってきました。会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素から支部運営にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

さて、本年は東京支部総会および懇親会を下記の通り、場所を女子栄養大学（駒込）にお借りして開催します。懇親会場の「松柏軒」（大学直営レストラン）は伊達政宗公の下屋敷として築かれたという、由緒を残すものです。味はもとより栄養バランスにも配慮された、女子栄養大学ならではの料理の数々には必ずご満足して頂けるものと確信しています。

また、ご家族のご同伴にも配慮をさせていただきました。ご夫妻での参加、あるいはまだ手が離せない小さいお子様をお持ちの同窓生の方、日頃忙しくてなかなか交友を広げる場に参加する機会がないという方も、この機会を是非ご利用下さい。ここでの繋がりが仕事や生活を一層充実したものにしてくれるかもしれません。お知り合いの同窓生もお誘い合わせの上、ふるってご参加くださいますようご案内申し上げます。

多治見北高同窓会東京支部総会実行委員会（4、14、24、34回生）

## 記

日 時：平成25年11月16日（土曜日）午後2時～6時（1時30分開場）

会 場：女子栄養大学 駒込キャンパス 東京都東京都豊島区駒込 3-24-3 JR駒込駅より徒歩3分（約350m）

## <プログラム>

- ・総 会：午後2時00分～2時30分
- ・フォーラム：午後2時45分～3時45分 講師 神奈月（奥村聡司・24回生）

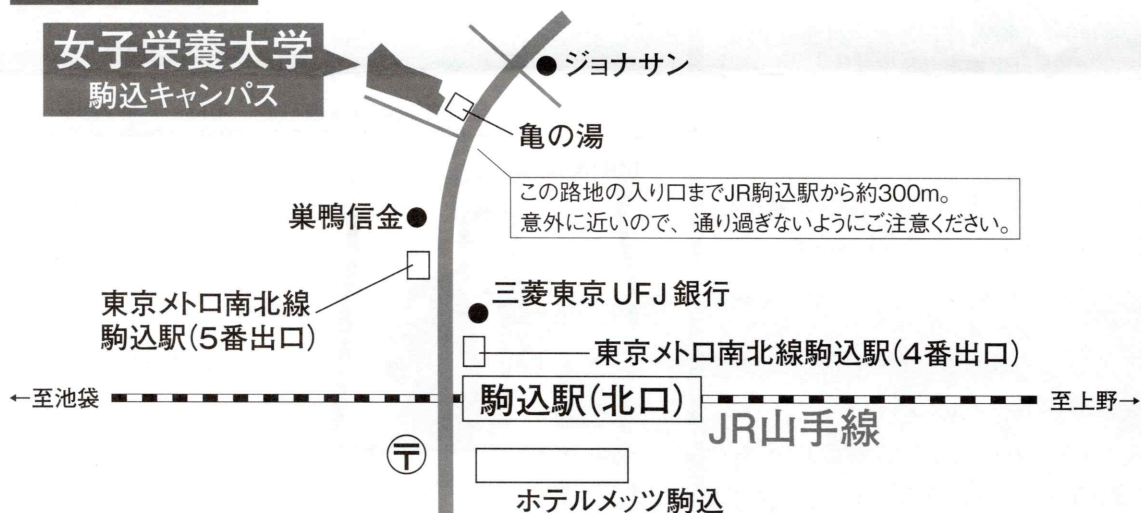
講師プロフィール：神奈月 太田プロダクション所属 ものまねタレント（24回生 奥村聡司）

演題：「エンターテインメントについて語る」

詳細は7ページをご覧ください。

- ・懇 親 会：午後4時00分～6時00分（於：松柏軒／女子栄養大学4号館5階）
- ・懇親会費 一般6,000円、30歳未満3,000円、学生1,000円（新卒業生は無料）、  
同伴家族3,000円（但し高校生以下無料）
- ・年会費 一般2,000円 学生0円
- ・現段階で参加をご予定いただいている恩師は以下のとおりです。  
鈴木康博多治見北高校長先生、松田嘉久先生、大嶽和好先生、伊左地恒久先生ほか

## 会場へのアクセス



編集委員 愛知正人（13回生）、原田英明（12回生）

<ホームページアドレス> <http://www.tajimikita-tyo.com/> <メールアドレス> [info\\_hokushin@tajimikita-tyo.com](mailto:info_hokushin@tajimikita-tyo.com)